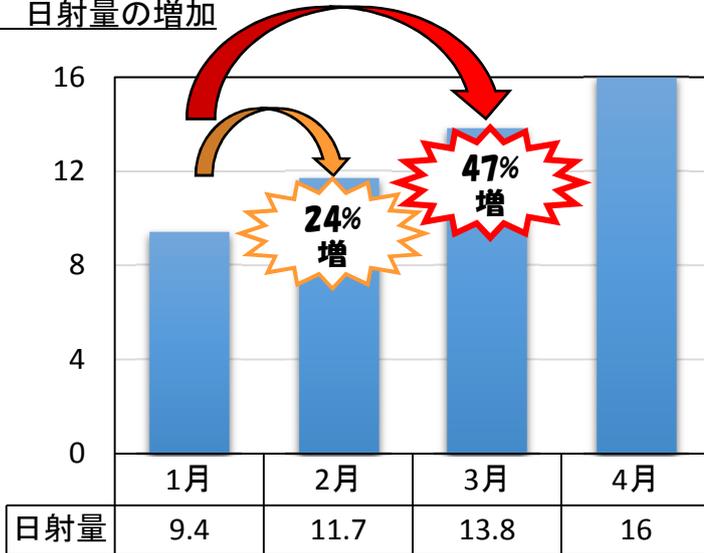


○今後の管理のポイント  
 ・日射量の増加による灌水管理の切り替え  
 ・特に、2番花の灌水管理と草勢管理

1 日射量の増加



節分を過ぎると、日射が強くなることを感じます。数字で見ると、2月の日射量は1月より**24%増加**し、3月では**47%増加**します。日射の増加に伴い、温度及び地温が上昇するため、トルコギキョウの生育は促進されます。そのため、これまでは草勢を抑えるために灌水を控えてきましたが、これからは「**日射量に負けない灌水!**」により草勢の向上及び品質を図る必要があります。

草勢を抑えるための灌水→草勢をつけるための積極的な灌水への切り替え  
 ※但し、1番花の収穫時期と2番花の収穫期待時期で調整が必要!

2 2番花の灌水管理及び草勢管理

(1) 1番花を年内に収穫した品種

2番花出荷期待時期	灌水管理	草勢管理
母の日前(早期出荷)	<b>灌水は原則1回</b> (頂花が咲くくらいまで灌水は控える)	抑える
母の日以降(通常出荷)	<b>灌水は原則2回</b> (草丈が40cmくらいと2次側枝の第1小花が見え始める頃の2回)	付ける

2番花の出荷期待時期により、灌水の回数を調整し、草勢を制御します。

また「**草勢が強い品種、中生系の品種→灌水時期は遅く**」、「**草勢が弱い品種、早生系の品種→灌水時期を早く**」などの調整が必要です。また1回当たりの灌水量は、**地下部まで水が浸みるようにたっぷり灌水**しましょう。

(2) 1番花を年明けに収穫した品種

日射に負けないように、収穫が半分程度終了した時点で、ベッド灌水及び通路灌水を始めます。また下芽の整理は**4~5節(10cm程度)**の時期に行うことで、草勢を向上させます。

特に、エスプリライトピンク、ポヤージュさくらの様な花芽分化が早く、節数が確保しにくい品種は特に積極的な灌水が必要です。

1番花を年内に収穫した場合は、2番花の灌水時期を判断する項目  
**2番花の出荷期待時期 × 2番花の草勢 × 品種の早晩性**  
 [ 早期出荷 / 通常出荷 ] × [ 強い / 弱い ] × [ 早生~中早生 / 中生 ]